

※本プログラムは授業の組み立ての参考にさせていただいたための1例です。

授業の目的

- ・やきものを手にとって鑑賞し、その味わいを知る。
- ・実際に発掘された陶片の元の形を想像することで、やきものへの興味を持ち、身近な「やきもの」への関心を高める。

授業の内容

用意するもの 先生：やきものボックス、A4サイズの紙 生徒：筆記用具、ボードか下敷き

時間50分	授業の展開 (班で活動)	学習指導要領の教科の目標 (全学年共通) と内容の取り扱い・指導上の配慮事項			
5分	<p>身近なやきものについてイメージする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふだん使っているやきものにどんなものがあるか、色、形などを聞く。 	<p>知識及び技能に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し、素材に触れることで、地域のやきものの造形的な特徴を理解する。 <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞や想像して描く活動を通して、やきものの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。 <p>関連する配慮事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) アー(イ)造形の要素などに着目して、材料の性質や質感を捉えることを、実感的に理解できるようにする 1) イー(イ)造形的な特徴などを基に、作風や様式などの文化的な視点で捉えること 3) 表現の材料や題材などについては、地域の身近なものや伝統的なものも取り上げるようにする 			
15分	<p>やきものを鑑賞する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期伊万里のお皿や色絵の鉢（磁器）と古唐津の向付（陶器）を各班（4～5班）に配布。※持ち方も指導する。（持ち方は美術館でレクチャーします） <p>活動 器の形や色、絵柄、手触りや重さなど、気づいたことを班で話しあい発表。</p>				
10分	<p>やきものの素材や技法を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磁器と陶器の違い、作り方の説明。（※説明シートがあります） <p>活動 陶石や粘土、釉薬に触れて観察。</p>				
15分	<p>陶片から元の形や絵柄を想像して描く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶片の作られた時代や場所を説明する。（※説明シートがあります） <p>活動 陶片に触れて鑑賞する。用途も考えながら、元の形や絵柄を想像して描く。</p>				
5分	振り返りとまとめ				

ボックスの内容

陶磁器4種：初期伊万里染付の皿（複製）3点・絵唐津の向付（複製）5点・現川焼の鉢1点・色絵の鉢3点
 古い陶片16点：伊万里、高取焼、タイなどの陶片／陶石、粘土（初期伊万里の皿の複製に使ったもの）
 やきものの説明シート

その他の利用例

◎創作活動との組み合わせ

やきものを鑑賞 → 作品の造形的な特徴を話し合う → 作品の制作

※作品制作の前に鑑賞活動を通して自分のイメージを膨らませ、その後の創作活動につなげることができます。

◎調べ学習に利用

やきものを鑑賞 → 作品の特徴を話し合う → 九州のやきものについて調べる → 発表

※身近な地域のやきものに触れることで、地域の伝統工芸や生活の中の美術への関心を高める学習ができます。

※本プログラムは授業の組み立ての参考にさせていただいたための1例です。

授業の目的

- ・布の作品を手にとって鑑賞し、その味わいを知る。・素材や技法に触れることで、身近な布に興味を持つ。
- ・アフリカの布を身にまとうことで、海外の文化に関心を持つ。

授業の内容

用意するもの 先生：染め・織りものボックス、鏡（あれば）、ワークシート 生徒：筆記用具

時間50分	授業の展開	学習指導要領 教科の目標（全学年共通） と内容の取り扱い・指導上の配慮事項	
2分	身近な布をイメージする ・素材や色・柄などを聞く。		
10分	布に触れて鑑賞 活動 ラオスの布（絹）とインドネシアのバティック（綿）を鑑賞。手触りや柄などを比べて気がついたことなどを話し合う。	知識及び技能に関する目標 ・作品に触って鑑賞したり、素材に触れることで、染め織りものの造形的な特徴を理解する。	
5分	布を単眼鏡で観察 活動 鑑賞した布、自分の服などを観察。布がどんなふうになっているかに注目。	思考力、判断力、表現力等に関する目標 ・鑑賞を通して、染め織りもののよさや美しさ、表現の意図と工夫について考え、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。	
10分	布の素材に触れる ・ラオスの布（絹・織物）とバティック（綿・染物）の素材や作り方の違いを説明。（※説明シートがあります） 活動 素材に触れて観察。感じた事やわかったことを話し合う。	学びに向かう力、人間性等に関する目標 ・実際に作品や素材に触れ、着る体験を通して、楽しく、主体的に活動に取り組み、美術を愛好する心情を育み、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	
20分	カンガを着る体験 ・カンガについて説明。着方を教える。（※着方は美術館でレクチャーします） 活動 カンガを選ぶ。着方を体験。オリジナルの着方も考える。	関連する配慮事項 1) アー(イ) 造形の要素などに着目して、材料の性質や質感を捉えることを、実感的に理解できるようにする。 6) 鑑賞の題材については、アジアの文化遺産についても取り上げる。	
3分	振り返りとまとめ		

ボックスの内容

インドネシアの更紗1点、ラオスの絹織物10点、カンガ41点、絹糸、蚕の繭、綿、綿糸、染色された絹糸10種、染料の素材5種、単眼鏡40個、カンガを紹介するパネル5枚、内容物、染め織りものの説明シート

その他の利用例

◎調べ学習に利用

布の構造を観察 → 素材に触れる → 地域の織物について調べる → 発表

※素材に触れて鑑賞することで、染織作品への興味を持ち、地域の伝統工芸や生活の中の美術への関心へと繋げる授業ができます。

※本プログラムは授業の組み立ての参考にさせていただいたための1例です。

授業の目的

- ・東アフリカの布「カンガ」を通して東アフリカの文化に触れると同時に、その造形的な美しさ、面白さを感じる。
- ・グループでオリジナルの着方を考えることで、創造的な発想力を養い、協力し合って表現活動を行う楽しさを体験する。

授業の内容

用意するもの 染め・織りものボックス、鏡（あれば）

時間50分	授業の展開	学習指導要領 教科の目標（全学年共通）と内容の取り扱い・指導上の配慮事項	
5分	アフリカについてイメージする ・アフリカについて知っていること、イメージすることを聞く。	知識及び技能に関する目標 ・鑑賞を通して、カンガの造形的な特徴を捉え理解する。	  
10分	カンガを鑑賞 ・カンガの説明。（※説明シートがあります） 活動 カンガを選ぶ。自分のカンガの色や模様注目。書かれているメッセージも見る。（※メッセージの和訳があります）	思考力、判断力、表現力等に関する目標 ・鑑賞を通して、カンガのよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。	
10分	カンガの着方を体験 ・着方を紹介。（※着方は美術館でレクチャーします） 活動 現地のいろいろな着方を試してみる。	学びに向かう力、人間性等に関する目標 ・オリジナルの着方を考えることで、楽しく、主体的に活動に取り組み、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	
20分	オリジナルの着方を考えてファッションショー 活動 班でモデルになる人を決め、みんなでオリジナルの着方を考える。工夫したところ、アピールポイントを発表。	関連する配慮事項 4) 班活動により、互いのよさや個性などを認め尊重し合うようにする	
5分	振り返りとまとめ		

ボックスの内容

インドネシアの更紗1点、ラオスの絹織物10点、カンガ41点、絹糸、蚕の繭、綿、綿糸、染色された絹糸10種、染料の素材5種、単眼鏡40個、染め織りものの説明シート、カンガを紹介するパネル5枚、カンガの説明シート

その他の利用例

◎調べ学習として

アジア・アフリカの布を鑑賞 → 素材に触れる → 地域や外国の染織について調べる → 発表

アジア・アフリカの布を鑑賞 → 着方を体験 → 現地の暮らしについて調べる → 発表

※素材に触れて鑑賞することで、染織への興味を持つとともに、地域や外国の文化への関心につながる授業ができます。

「絵画」① 見て、話して、楽しむ絵の世界（油彩画）～シャガール《空飛ぶアトラージュ》

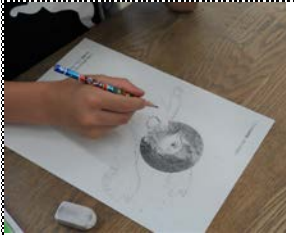

※本プログラムは授業の組み立ての参考にしていただくための1例です。

授業の目的

- ・ 絵画作品を鑑賞し、作品に対する自分の意見や想像を言葉にして、生徒同士で分かち合うことで、作品の多面的な見方を習得し、鑑賞の楽しさ、おもしろさを知る。
- ・ 福岡市美術館に実物があることを知ることで、美術や美術館への関心を持つ。

授業の内容

用意するもの 先生：「絵画・彫刻ボックス シャガール」、作品の一部が印刷されたワークシート（人数分）
 生徒：筆記用具、色鉛筆（あれば）

時間50分	授業の展開	学習指導要領 教科の目標（全学年共通）と内容の取り扱い・指導上の配慮事項	
5分	美術館や作品についてイメージする ・美術館や作品について知っていること、体験したことを聞く。	知識及び技能に関する目標	 
15分	作品の続きを想像して描く 活動 ワークシートに描かれた作品の一部から続きの絵を想像して描く。どんなことを想像して描いたか発表。	・実物に近い複製画を鑑賞することで、より作品の造形的な特徴を捉え、理解することができる。 思考力、判断力、表現力等に関する目標	
15分	作品を鑑賞する（対話型鑑賞） 活動 発見・想像したことをみんなで共有しながら話し合う。	・作品のよさや美しさを感じ、作者の心情や表現の意図、工夫について考え、美術に対する見方や感じ方を深める。 学びに向かう力、人間性等に関する目標	
5分	作品について知る ・生徒の発言をふまえ、作家や作品について説明する。（※説明シートがあります）	・対話型鑑賞を通して、楽しく、主体的に鑑賞する活動に取り組む。 内容の取り扱い	
10分	振り返りとまとめ 活動 作品の解釈を自分なりに考え、作文する。	・言葉で考えを整理したり、作品について話し合うなど、言語活動の充実を図ること	

ボックスの内容

マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》（複製）、作品を展示する台座、作品の説明シート、ワークシート原本

その他の利用例

◎美術館利用の事前授業として

対話型鑑賞 → 美術館でスクールツアー

※事前に所蔵品（複製）の鑑賞をすることで、美術館での作品鑑賞がより楽しく、深いものになります。

◎国語の授業で

対話型鑑賞 → 感じたこと、発見したことなどをメモ → 作品の紹介文を書く → 発表

※作品鑑賞で自分の見方や感じ方を言葉に表したり、それを伝えるために文章を組み立てたりする学習ができます。

「絵画」② 見て、話して、楽しむ絵の世界（屏風）～《韃靼人狩猟図屏風》

※本プログラムは授業の組み立ての参考にさせていただいたための1例です。



授業の目的

絵画作品を鑑賞し、作品に対する自分の意見や想像を言葉にして、生徒同士で分かち合うことで、作品の多面的な見方を習得し、鑑賞の楽しさ、おもしろさを知る。

・福岡市美術館に実物があることを知ることで、美術や美術館への関心を持つ。

授業の内容

用意するもの 先生：「絵画ボックス 韃靼人狩猟図屏風」、作品の一部が印刷されたワークシート（人数分）
生徒：筆記用具、色鉛筆（あれば）

時間50分	授業の展開	学習指導要領 教科の目標（全学年共通）と内容の取り扱い・指導上の配慮事項	
5分	<p>美術館や作品についてイメージする</p> <p>・美術館や作品について知っていること、体験したことを聞く。</p>	<p>知識及び技能に関する目標</p> <p>・実物に近い複製画を鑑賞することで、より作品の造形的な特徴を捉え、理解することができる。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標</p> <p>・作品のよさや美しさを感じ、作者の心情や表現の意図、工夫について考え、美術に対する見方や感じ方を深める。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標</p> <p>・対話型鑑賞を通して、楽しく、主体的に鑑賞する活動に取り組む。</p> <p>内容の取り扱い</p> <p>・言葉で考えを整理したり、作品について話し合うなど、言語活動の充実を図ること</p>	 
15分	<p>作品の続きを想像して描く</p> <p>活動 ワークシートに絵を想像して描く。どんなことを想像して描いたか発表する。</p>		
15分	<p>作品を鑑賞する（対話型鑑賞）</p> <p>活動 発見・想像したことをみんなで共有しながら話し合う。</p>		
5分	<p>作品について知る</p> <p>・生徒の発言をふまえ、作品について説明する。（※説明シートがあります）</p>		
10分	<p>振り返りとまとめ</p> <p>活動 作品の解釈を自分なりに考え、作文する。</p>		

ボックスの内容

長谷川派《韃靼人狩猟図屏風》（江戸時代）（複製）、毛せん2枚、作品の説明シート、ワークシート原本

その他の利用例

◎美術館利用の事前授業

対話型鑑賞 → 美術館でスクールツアー

※事前に所蔵品（複製）の鑑賞をすることで、美術館での作品鑑賞がより楽しく、深いものになります。

◎国語の授業で

対話型鑑賞 → 感じたこと、発見したことなどをメモ → 作品の紹介文を書く → 発表

※作品鑑賞で自分の見方や感じ方を言葉に表したり、それを伝えるために文章を組み立てたりする学習ができます。




※本プログラムは授業の組み立ての参考にさせていただいたための1例です。

授業の目的

絵画作品を鑑賞し、作品に対する自分の意見や想像を言葉にして、生徒同士で分かち合うことで、作品の多面的な見方を習得し、鑑賞の楽しさ、おもしろさを知る。作品に使われた素材や技法を知ること、より作品の見方を深め、作品鑑賞への興味を広げる。

授業の内容

用意するもの 「絵画ボックス シャガール」、「素材と技法ボックス 油彩画」

時間50分	授業の展開	学習指導要領 教科の目標（全学年共通） と内容の取り扱い・指導上の配慮事項	
5分	美術館や作品についてイメージする ・美術館や作品について知っていること、体験したことを聞く。	思考力、判断力、表現力等に関する目標 ・鑑賞を通して、作品のよさや美しさを感じ、作者の心情や表現の意図、工夫について考え、美術に対する見方や感じ方を深める。	
15分	作品を鑑賞する（対話型鑑賞） 活動 発見・想像したことをみんなで共有しながら話し合う。		
5分	作品について知る ・生徒の発言をふまえ、作家や作品について説明する。（※説明シートがあります）	知識及び技能に関する目標 ・描かれた素材や技法に触れることで、作品に表現された造形的な視点について理解する。	 
15分	油彩画の素材や道具に触れる （※素材や道具の説明シートがあります） 活動 手に取って観察し、作品がどのように描かれたかなど想像してみる。	学びに向かう力、人間性等に関する目標 ・対話型鑑賞や画材などに触れる体験を通し、楽しく、主体的に活動に取り組み、美術を愛好する心情を育む。	
	油彩画の表現を知る （※技法見本の説明シートがあります） 活動 技法見本を手に取ってよく観察。描き方の違いに注目してみる。	内容の取り扱い ・言葉で考えを整理したり、作品について話し合うなど、言語活動の充実を図る。	
5分	振り返りとまとめ		

ボックスの内容

絵画：マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》、作品を展示する台座、作品の説明シート

素材と技法（油彩画）：油絵具、顔料、媒材7種、ラピスラズリ、筆16種、ペインティングナイフ、パレット、技法見本8種、説明シート

その他の利用例

◎創作活動との組み合わせ（「素材と技法」③を参照）

素材や道具に触れる → 技法見本を見て描き方を想像する → 見本の描き方を試す

※作品鑑賞と創作をあわせた授業もできます。

※本プログラムは授業の組み立ての参考にさせていただいたための1例です。

授業の目的

絵画作品を鑑賞し、作品に対する自分の意見や想像を言葉にして、生徒同士で分かち合うことで、作品の多面的な見方を習得し、鑑賞の楽しさ、おもしろさを知る。作品に使われた素材や技法を知ること、より作品の見方を深め、作品鑑賞への興味を広げる。

授業の内容

用意するもの 「絵画ボックス 屏風」、「素材と技法ボックス 日本画」

時間50分	授業の展開	学習指導要領 教科の目標（全学年共通）と内容の取り扱い・指導上の配慮事項	
5分	<p>美術館や作品についてイメージする</p> <p>・美術館や作品について知っていること、体験したことを聞く。</p>	<p>思考力、判断力、表現力等に関する目標</p> <p>・鑑賞を通して、作品のよさや美しさを感じ、作者の心情や表現の意図、工夫について考え、美術に対する見方や感じ方を深める。</p>	
15分	<p>作品を鑑賞する（対話型鑑賞）</p> <p>活動 発見・想像したことをみんなで共有しながら話し合う。</p>		
5分	<p>作品について知る</p> <p>・生徒の発言をふまえ、作家や作品について説明する。（※説明シートをがあります）</p>	<p>知識及び技能に関する目標</p> <p>・描かれた素材や技法に触れることで、作品に表現された造形的な視点について理解する。</p>	
15分	<p>日本画の素材や道具に触れる</p> <p>（※素材や道具の説明シートがあります）</p> <p>活動 手に取って観察し、作品がどのように描かれたかなど想像してみる。</p>	<p>学びに向かう力、人間性等に関する目標</p> <p>・対話型鑑賞や画材などに触れる体験を通し、楽しく、主体的に活動に取り組み、美術を愛好する心情を育む。</p>	
	<p>日本画の表現を知る</p> <p>（※技法見本の説明シートがあります）</p> <p>活動 技法見本を手に取ってよく観察。描き方の違いに注目してみる。</p>	<p>内容の取り扱い</p> <p>・言葉で考えを整理したり、作品について話し合うなど、言語活動の充実を図る。</p>	
5分	振り返りとまとめ		

ボックスの内容

絵画：長谷川派《韃靼人狩猟図屏風》（江戸時代）、毛氈2枚、作品の解説シート

素材と技法（日本画）：岩絵具、水干絵具、胡粉、にかわ、墨、朱墨、金箔、金泥、藍銅鈷、孔雀石、砂子筒、筆8種、硯、箔ばさみ、たたき筆、日本画の技法見本9種、内容物の説明シート

その他の利用例

◎創作活動との組み合わせ

素材や道具に触れる → 技法見本を見て描き方を想像する → 見本の描き方を試す

※作品鑑賞と創作をあわせた授業もできます。（「素材と技法」④を参照）

「素材と技法」③ 吹いて、混ぜて、流して 描き方いろいろ

※本プログラムは授業の組み立ての参考にさせていただいたための1例です。

授業の目的

- ・普段使っている水彩画や色鉛筆だけでなく、油彩画や日本画といったさまざまな画材があることを知る。
- ・1つの画材でも、さまざまな工夫で多様な表現ができることを知る。

授業の内容

先生：「素材と技法ボックス 油彩画」、「素材と技法ボックス 日本画」、A5程度の数種類の紙（画用紙、ワトソン紙、奉書紙など）（人数分）、ストロー（人数分）
 生徒：水彩絵の具セット

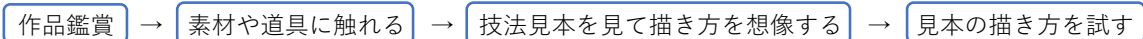
時間50分	授業の展開	学習指導要領 教科の目標（全学年共通）と内容の取り扱い・指導上の配慮事項	
5分	<p>絵を描く素材や道具についてイメージする</p> <p>・どんなものがあるか聞く。様々な画材があることを伝える。</p>		
20分	<p>油彩画・日本画の画材や見本に触れる</p> <p>・素材や道具、描き方の違いを説明。 （※説明シートがあります）</p> <p>活動 素材や道具を手にとって観察したり、見本がどうやって描かれているか、想像する。</p>	<p>知識及び技能に関する目標</p> <p>・絵画の素材や技法に触れたり、技法見本を見ることにより、作品に表現された造形的な視点について理解する。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標</p> <p>・実際に素材や道具に触れ、いろいろな表現を試してみる体験を通して、楽しく、主体的に活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育む。</p>	 
15分	<p>いろいろな表現を試す</p> <p>活動 絵の具をストローで吹いたり、紙を傾けたりして流す表現や、にじませたりする描き方をいろいろな紙で試す。</p>		 
10分	片付け・振り返りとまとめ		

ボックスの内容

油彩画：油絵具、顔料、媒材7種、ラピスラズリ、筆16種、ペインティングナイフ、パレット、油彩画の技法見本8種
 日本画：岩絵具、水干絵具、胡粉、にかわ、墨、朱墨、金箔、金泥、藍銅鉱、孔雀石、砂子筒、筆8種、硯、箔ばさみ、たたき筆、日本画の技法見本9種
 説明シート

その他の利用例

◎作品鑑賞と組み合わせる（「絵画」①や②と合わせて利用）



※本プログラムは授業の組み立ての参考にしていただくための1例です。

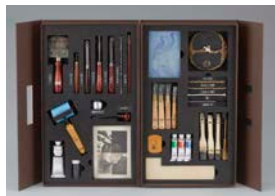

授業の目的

- ・ 版画にはその道具や素材によって、さまざまな表現方法があることを知る。
- ・ 素材や道具に触れることで、版画の技法に興味を持ち、版画作品や版画制作を身近に感じてもらう。

授業の内容

用意するもの 「素材と技法ボックス 版画」、版画制作に必要な材料等

※版画制作の授業とあわせてご利用いただけます。

時間90分～	授業の展開	学習指導要領の教科の目標（全学年共通）と内容の取り扱い・指導上の配慮事項	
5分	<p>版画のしくみを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 版画の特徴を知る。 <p>版を作れば同じ絵を何枚も作れること。版の作り方にいろいろな種類があることを説明。（※説明シートがあります）</p>		
15分	<p>素材や道具、技法見本を見る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 版画にはいろいろな技法があり、素材や道具、表現に違いがあることを説明。 <p>（※説明シートがあります）</p> <p>活動 素材や道具を手にとって観察。どうやってできているか、想像してみる。</p>	<p>知識及び技能に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 版画の素材や技法に触れることで、版画作品に表現された造形的な視点について理解する。 <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 版画の表現の違いを見ることで、作品に対する自分の見方や感じ方を深める。 	 
70分～	<p>版画作品の制作（木版画、ドライポイントなど）</p>		

ボックスの内容

木版画：彫刻刀、はこび、刷毛、絵の具3色、バレン、バレン中芯4種、見当板、技法見本（版木・作品）

銅版画：ニードル、スクレーパー、バニッシャー、ルーレット、ベルソー、ビュラン、固形グラウンド、ゴムローラー、インク、顔料、技法見本2種（銅版・作品）

シルクスクリーン：オペークインク、クレパス、オペークペン、ダーマトグラフ、バケットスキージ、感光剤、感光乳剤、絵の具、スキージ、技法見本（フィルム・スクリーン・作品）

リトグラフ：ダーマトグラフ、解墨、彩色筆、アラビアゴム、平版ラッカー、チンクタール、インク2種、スポンジ、技法見本（アルミ版・作品）

説明シート